

# 信州百名山 虫倉山(1,378m)

(報告) SAKA

◎山行期日：2017年11月5日 ◎メンバー：ソロ

10月中旬、麻績村<sup>おみ</sup>の聖高原に別荘を持つ、小学校からの同級生を訪ねた。10人で押しかけて、そのうちの山好きで、近くの山でも登ろうと計画したのが、虫倉山山行だ。決行当日は雨。残念ながら中止になった。今度こそと11月4日に計画したが、再び雨。翌日ようやく山行がかなった。変わった山名の由来を、案内書より簡潔に紹介しよう。一般的に「虫」は蛇の象形文字だが、水神信仰では龍のこと。「倉」は御座。神の座のこと。つまり、龍が鎮座する山という意味だそう。

8時に信濃追分を車で発ち、小諸北より上信越高速道に乗り約1時間で長野IC着。早目に登山口に着きそう。19号線を西に走り、順調に中条に着く。「水車小屋」方面へ右折し、勘を頼りに枝道避け、山里の紅葉に見とれて迷わぬよう慎重に駆けた。

「山姥<sup>やまんぼ</sup>の里」虫倉山の登山口は本当にあるのだろうか、と心配になったころ、T字路の突き当りに「水車小屋」が現れほっとする。箱根の金太郎の母はじめ、全国至る所に「山姥」の話というものはあって、山の奥地に住んでいるとされる婆妖怪、鬼婆、鬼女が旅人に一夜の宿を貸して悪事を働くとされている。実は、虫倉山の山姥は、子供をとてまかわいがる神様のことだというから面白い。もう何十年も前に、ここ中条の北「鬼無里<sup>きなし</sup>」へ、妻とその母を連れて来たことがある。水芭蕉を見て、小川村に泊まり、毛布にくるまりながら夜空の星を見た。山また山の奥山の鬼女やら山姥やらの伝説に囲まれて、あえて鬼のいない里「鬼無里」と命名したに違いないと、思った記憶がある。

この山深い中条で、一昨日は「むしくらまつり」なるものが行われたそうで、村興しへの人々の情熱に感心させられた。

「水車小屋」より登山口の不動の滝まで、林道を15分ほど走り、ようやく駐車場に着いた。なんと、もう10時を回っている。虫倉山への登山コースは6コースある。今回は不動の滝から「さるすべりコース」で登った。10時半より登り始め、虫倉神社奥の院からの急登に続くいくつもの鎖場を腕力で登ること1時間半、12時ちょうどに登頂できた。天気にも恵まれて、360度のパノラマ展望。雪を頂いた鹿島槍、五竜はじめ北アルプスの峰々、近くには戸隠、浅間山、妙高などゆっくりと眺めて、こんなに永く山頂にいたのは久しぶりだ。下りは「不動の滝」をとり、1時間で下った。

ガイドブックおすすめの茅葺屋根の古民家「温泉旅館やきもち家」に辿り着くのに、山裾に迷い、時間をくってしまった。屋号の出どころの名物のおやきは、今日は職人が休みでできないとのことで、がっかりしたが、立派な古民家は一見に値した。こじんまりとしたきれいな風呂は単純泉か。気持ちよく汗を流して岐路についた。遅い登り始めだったが、気持ちよく終えて、記憶に残る良い山行であった。



(虫倉山)

